

## 2 実践事例（6）

# 戸沢村立戸沢中学校

### 研究の目的

本校の実態として、ICT環境が整備されつつある中で、小中一貫教育校の利点を生かし、9年間で系統的に、学習場面での生徒のICT機器の活用と教員の指導スキルの向上が必要である。ICT機器の効果的な活用を通して生徒の学力向上につなげていきたいと考えている。

情報活用能力を育成するため、各教科等の学習場面でICT機器をどのように活用するか、そのために必要なことは何かを明確にして実践する必要がある。そして、教科横断的な視点で育成した情報活用能力を発揮させ、主体的・対話的で深い学びにつなげていくため、本事業に取り組みたいと考えている。

### 実践紹介

#### 特定の教科等において、より効率的・効果的な活用例

##### 【中1理科 植物の分類】

###### 【レポートの作成場面】

- 教科書からだけでは得られない豊富な情報を、インターネットを活用することによって、取捨選択しながら必要な情報をわかりやすくまとめることができた。
- ローマ字入力やインターネット検索のスピードなど、小学校からの経験でとてもスムーズに調べ学習ができていた。
- ただ教師側の説明を聞くよりも、自分で調べることが生徒は大好きであり夢中になる。（小学校からの継続）



##### 【中2国語 魅力的なプレゼンテーション】

###### 【表現力の向上を図るため、ビデオ機能を活用する場面】

- スピーチの様子をビデオ撮影し、自分の「話し方」を客観視し、自分自身へのアドバイスを考えさせた。特に目線や表情について改善が見られた。また、グループでお互いに見せ合い、魅力的なプレゼンテーションの話し合いが有効に行われた。
- 自分の「話す・聞く」の力を客観視するために、大きな効果があり、人前でも堂々と発表できる生徒が多くなった。
- 相手の発表にも関心を持ち、自分の考えと比較できるようになった。



##### 【中3数学 関数 $y = ax^2$ 】

###### 【Excelによる自動グラフ化の場面】

- 実験結果をその場で代入し、グラフ化することによって、具体的な事象から関数関係を見だし考察する力を養うことができた。
- 実験を行いながらその場で分析できることで、具体的な事象から数学の事象としてとらえ直すことができ、難しさを感じる事が少なかったようである。
- グラフを書くことそのものが目的でない場合、ツールとしてはとても便利である。



## 教科等によらない汎用的な活用例

### 【一斉学習】

#### 【朝の会・終わりの会等（連絡事項の可視化）】

- ・残り時間を大きなタイマーで表示したり、登校してからやることのリストやテストの日程など、連絡事項を常に電子黒板に大きく表示することによって、全生徒が次の行動を意識するようになってきた。

#### 【読み聞かせ（電子黒板に大きな絵本）】

- ・中学校の図書委員が、小学校に読み聞かせを実施。電子黒板に絵本を大きく映すことで、小学生が食い入るように注目していた。



### 【個別学習】

#### 【村民フォーラムでの発表（「PowerPoint」によるプレゼンテーション）】

- ・村への提言をテーマに、戸沢村の課題や将来の発展に向けて、さまざまな提案を「PowerPoint」でまとめ、タブレットを活用し、村民に説明した。



#### 【デジタルドリル（「eライブラリ」を活用したドリル学習）】

- ・タブレットの「eライブラリ」を活用し、単元のまとめや、課題テストの前に復習問題を行った。
- ・自習課題として、1人1台のタブレットを活用し、各自が、自分の力に応じた問題を選び、自習に取り組むことができた。

### 【協働学習】

#### 【外部との交流（「Zoom」の活用）】

- ・戸沢村の課題の解決策を「PowerPoint」を活用して発表し、外部講師から「Zoom」を使ってアドバイスをもらった。
- ・自分の企画を、さらに魅力的にするための活動について深く考えることができた。
- ・コロナ禍での学習でも、ICT機器を活用することで外部講師とリアルタイムで関わることができ、学習が深まった。



## 成果・次年度に向けて

- ・ICT機器を活用して学校教育を進める上での環境が整い、生徒の活用スキルがしっかり育っている。
- ・生徒達が主体的に情報を得ようとし、活用する様子が見られるようになってきた。「Zoom」によって、他の学校との交流や、学校外の講師とつながる経験ができたことなども大きい。
- ・ICT機器を活用した授業が、子ども達の学習への興味・関心を高めていることは間違いない。さらに学力の向上や主体的に学ぶ力を育てていきたい。
- ・タブレットを活用することで情報の共有が大変スムーズになり、学び合いが活発になるきっかけとなっている。必要な情報を自分で引き出しながら、PCを使っての意見交換など、情報活用能力を9年間で系統的に高めていきたい。
- ・教科の本質を追究していくためのICT機器の活用方法を、今後は全教職員でしっかり研修していくことが必要である。
- ・タブレットを家庭学習用に持ち帰ること、また臨時休校などでのオンライン授業など、今後考えていかなければならない。
- ・先進校の取り組みを参考に、ICT機器は学びを深めるために有効なツール（道具）であるという認識を全職員で共有し、その効果的な活用方法を常に研修していく姿勢を大切にしていきたい。